

サチユタカA1号

New Soybean Cultivar “Sachiyutaka A1”

西日本の主要な大豆品種「サチユタカ」は莢がはじけやすいため、刈り遅れ時には自然裂莢が多発し、実収量が大幅に低下します。

そこで遺伝子マーカーと戻し交雑法を用いて、「サチユタカ」に品種「ハヤヒカリ」の難裂莢性を導入した「サチユタカA1号」を開発しました。

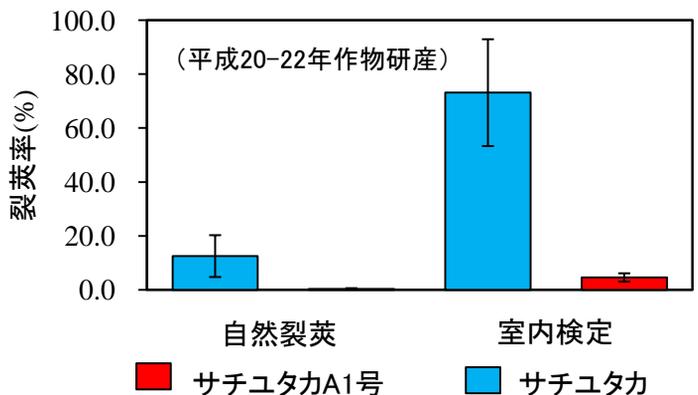
「サチユタカA1号」は「サチユタカ」と成熟期などの特性がほぼ同じで、容易に「サチユタカ」普及地域へ導入できます。



サチユタカ

サチユタカA1号

成熟1ヶ月後の「サチユタカ」には裂莢が多発しますが、「サチユタカA1号」はほとんど裂莢しません。



サチユタカA1号の主な農業特性

「サチユタカ」に難裂莢性を導入した「サチユタカA1号」は開花期や成熟期などの農業特性がほぼ同じで、区別できません。

試験区	品種名 または 系統名	開花期 (月・日)	成熟期	倒伏	主茎長 (cm)	子実収量 (kg/a)	百粒重 (g)	蛋白含量 (%)
6月 播種	サチユタカA1号	8.06	10.26	中	61	32.7	30.1	45.4
	サチユタカ	8.05	10.25	中	62	31.2	30.1	46.8
7月 播種	サチユタカA1号	8.23	11.03	少	44	34.5	31.2	45.1
	サチユタカ	8.22	11.03	少	44	32.8	31.0	47.1